

題材の目標

- (1) 購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性や売買契約の仕組み、消費被害の背景とその対策について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
- (2) 物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定して解決策を構想することで、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、金銭管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

標準的な展開例

【準備等】タブレット端末

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 自分や家族の消費生活を振り返り、学習課題をつかむ。</p> <p>★消費者としての自覚をもって、商品を購入しよう。</p> <p>○自分や家族の消費生活を振り返る。</p> <p>○消費している商品には、物資とサービスがあることを知る。</p> <p>○契約について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の消費に使える金銭には限りがあることや優先順位を考えた計画的な支出が必要であることに気付かせる。 ・最近お金を使ったものを振り返らせるなどして、自分たちが消費している物の多様性に気付かせる。 <p>【評】消費生活を振り返る活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律によって保護された約束事であることを確認し、消費者としての自覚をもたせる。 ・2次元コードを読み取り、契約クイズを行い、契約について理解させる。 <p>【評】売買の契約について確認する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>2 購入方法と支払方法の特徴について知る。</p> <p>★購入方法や支払方法の特徴を知ろう。</p> <p>○販売方法の種類を知り、特徴をまとめる。</p> <p>・店舗販売 ・無店舗販売</p> <p>○商品を購入する際の支払い方法を調べ、特徴をまとめる。</p> <p>・前払い ・即時払い ・後払い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の購入方法を考える中で、販売方法について生徒の関心を高めさせる。 ・2次元コードを読み取り、インターネット通販シミュレーションを行い、無店舗販売に気をつけるべきところを気付かせる。 ・販売方法と関連させて、商品の支払い方法を考えさせたり、サービスにおける支払い方法を考えさせたりする。 ・具体的な買い物場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考えさせる。 <p>【評】購入方法や支払い方法の特徴を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>3 バランスよく計画的な金銭の管理について知る。</p> <p>★計画的な金銭管理の必要性を考えよう。</p> <p>○収入と支出のバランスを考える。</p> <p>○クレジットカードと三者間契約について知る。</p> <p>○自分と家族の生活とお金との関わりを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欲しい商品が本当に必要か、自分や家族の中での優先順位についても考えさせる。 ・社会とも関連させながら、三者間契約の仕組みや特徴について理解させる。 ・2次元コードを読み取り、電気製品の故障など、急で大きな支出が必要になったとき、どのように支出を調整するかまた商品を購入する際に重視する観点について話し合わせる。 <p>【評】商品購入に関する話し合い活動を通して「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

<p>4 消費者トラブルとその対策について知る。</p> <p>★消費者トラブルに遭わないための方法や対策について考えよう。</p> <p>○消費者トラブルの実例を取り上げ、その解決方法について考える。</p> <p>○悪質商法の種類や特徴をまとめ、未然に防ぐための対応を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィッシング詐欺 ・ワンクリック詐欺 ・アポイントメントセールス ・マルチ商法 <p>○消費者に関わる法律について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者契約法 ・製造物責任法（PL法） ・特定商取引に関する法律 <p>○消費者トラブルに遭ってしまったときにどうしたらよいかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者保護のための相談機関（国民生活センター、消費生活センター） ・消費者を救う制度（クーリング・オフ制度） <p>○クーリング・オフの通知の仕方を知り、実際に書く。</p> <p>○売買の契約をする際の注意点をまとめる。</p>	<p>む態度」を評価する。</p> <p>・中学生に関わりの深いトラブル事例を取り上げて、調べさせる。</p> <p>【評】消費者トラブルに遭わないための対策を考える活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・2次元コードを読み取り、悪質商法について理解させる。</p> <p>・地域の消費生活センターで調べる活動を取り入れることもできる。</p> <p>・クーリング・オフによる契約の解除は、電話や口頭ではなく、文書で通知し、その際、内容証明郵便で送ることが確実であることを確認する。</p> <p>・注意点に対して、具体的な断り方について考えさせる。</p> <p>【評】注意点と具体的な対策について考える活動を通して、「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
--	--

【 備 考 】